

学校法人いわお学園

平成30年度(2018年度) 事業報告書

(1) 沿革

平成17年03月	学校法人いわお学園設置認可。 理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ設置認可。 同 理容師養成施設指定。 同 美容師養成施設指定。
平成17年04月	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ開校。 (理容科定員 30名、美容科定員 50名)
平成18年04月	プロ理容師養成科開講。(定員 30名)
平成19年04月	あべの新校舎開校・事務局移転。 美容科定員変更。(定員 80名) プロ美容師養成科開講。(定員 50名)
平成20年04月	美容科定員変更。(定員 160名)
平成21年04月	理容科定員変更。(定員 90名) TONI&GUY カット ACADEMY開講。 NHC ネイル ACADEMY開講。
平成24年04月	TONI&GUY カラー ACADEMY開講。
平成26年04月	あべのマルシェ校舎開校。 美容科定員変更。(定員 240名) NHC アイラッシュ ACADEMY開講。
平成27年02月	職業実践専門課程認可。(理容科、美容科)
平成27年10月	天王寺校舎北館開校。
平成28年04月	理容科定員変更。(定員 140名) NHC レディースシェーブ&エステ ACADEMY開講。
平成29年04月	プロ理美容師養成科開講(定員 90名)

(2) 設置する学校の所在地

理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ

あべの本校舎

〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町2-1-2 あべのポンテ2F

あべのマルシェ校舎

〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町2-1-1-200

天王寺校舎 北館

〒543-0055 大阪市天王寺区悲田院町3-23

天王寺校舎 南館

〒543-0055 大阪市天王寺区悲田院町3-5

(3) 役員 の 状況 (令和元年5月1日現在)

役職	氏名	主な職業
理事長	高添 陽一	学校法人いわお学園理事長
理事	高添 裕子	会社役員
理事	平田 耕二	学校法人いわお学園教員
理事	高橋 建二	会社役員
理事	古川 繁浩	会社役員
理事	丸尾 匠司	理容師
監事	西脇 泰弘	税理士
監事	八代規素子	自営

(4) 評議員 の 状況 (令和元年5月1日現在)

役職	氏名	主な職業
評議員	高添 陽一	学校法人いわお学園理事長

評議員	高添 裕子	会社役員
評議員	丸山 勇樹	学校法人いわお学園教員
評議員	森田 いづみ	学校法人いわお学園職員
評議員	平田 耕二	学校法人いわお学園教員
評議員	大迫 義文	理容師
評議員	蛭原 征志	理容師
評議員	岡本 貞治	理容師
評議員	丸尾 匠司	理容師
評議員	矢野 剛	学校法人いわお学園教員
評議員	下町 一久	学校法人いわお学園教員
評議員	高添航太郎	美容師
評議員	高添友梨子	美容師

(5) 教職員の状況(令和元年5月1日現在)

	専任	兼任	合計
校長	1名		1名
教員	28名	19名	47名
事務職員	6名	4名	10名
合計	35名	23名	58名

(6) 生徒の状況(令和元年5月1日現在)

		定員	現員	充足率	前年	伸長率
理容科	1年	70名	29名	41.4%	45名	64.4%
	2年	70名	43名	61.4%	38名	113.2%
	計	140名	72名	51.4%	83名	86.7%
美容科	1年	120名	86名	71.7%	105名	81.9%
	2年	120名	92名	76.7%	89名	103.4%
	計	240名	178名	74.2%	194名	91.8%
プロ理美容師 養成科	1年	30名	16名	53.3%	20名	80.0%
	2年	30名	15名	50.0%	11名	136.4%
	3年	30名	9名	30.0%	...	
	計	60名	25名	41.7%	31名	80.6%
プロ美容師 養成科	1年	25名	9名	36.0%	14名	64.3%
	2年	25名	12名	48.0%	7名	171.4%
	計	50名	21名	42.0%	21名	100.0%
合計	1年	245名	140名	57.1%	184名	76.1%
	2年	245名	162名	66.1%	145名	111.7%
	3年	30名	9名	30.0%	...	
	計	520名	311名	59.8%	329名	94.5%

(7) 土地及び建物の状況

	土地面積	建物面積	合計
あべの本校舎	634.81㎡	1,306.72㎡	1,941.53㎡
あべのマルシェ校舎	98.76㎡	270.57㎡	369.33㎡
天王寺校舎 北館	186.22㎡	413.35㎡	599.57㎡
天王寺校舎 南館	193.04㎡	301.97㎡	495.01㎡
敬愛ガーデン(寮)	267.76㎡	531.33㎡	799.09㎡
あべのポンテ506(寮)	27.89㎡	86.85㎡	114.74㎡
あべのポンテ706(寮)	27.89㎡	86.85㎡	114.74㎡
合計	1,436.37㎡	2,997.64㎡	4,434.01㎡

2. 事業の概要

(1) 教育活動

国家試験の結果、美容科は86名が受験し、78名が合格(合格率 90.7%)という結果でした。不合格者8名の内訳は、実技試験不合格者1名、学科試験不合格者5名、未受験者2名となっています。

例年通り模試等の結果に基づき、定期的にランク分けを変動させながら、ランク毎の少人数制指導を徹底しましたが、十分に効果を発揮できなかった結果と認識しています。

今後、基礎学力に遅れの見られる生徒に、効果的に知識を習得させるために、更にランクを分けた少人数制指導の実施等、効果を見ながら臨機応変に取り組むべき課題ととらえています。

対して理容科は、36名が受験し、35名が合格(合格率 97.2%)という結果となりました。

不合格者は衛生面での減点が理由であり、試験当日の緊張感の中でもしっかりと実力を発揮することができる様、衛生面でも反復練習を徹底していく必要を感じています。

職業実践専門課程の認可を受け4年目を迎えました。

その成果を発表する場として、初年度より取り組んでいるNHCフェスティバルも4回目を迎え、今年度も7月20日に大阪国際交流センターで開催しました。

次第に認知度も高まっており、今年度は13校のダンスチームが出場してくださいました。

また、生徒のヘアメイク指導の他、来場者向けのブースでの施術に計23社の校友会サロンの協力をいただきました。

現場で活躍する理美容師を講師に招き、ダンスパフォーマンスに合せたヘアスタイルの具現化という実践的な機会を通じ、生徒の理美容師になりたいという想いを強めさせるとともに、高校生にも理美容師という職業の素晴らしさを実感してもらおう場として、今後も継続して取り組んでいく所存です。

(2) 就職支援

今年度も4～5月にかけて校友会サロンを学校に招いての就職ガイダンスを開催し、早期に就職活動を始めるにあたっての意識の醸成を図りました。(70社参加)

その他、卒業生全員に対する個別面談、面接練習等の個別指導を徹底して行い、昼間卒業生121名の内、就職希望者114名(理容科36名、美容科78名)全員が、卒業時まで以内定をいただくことができました。(就職率 100%)

しかしながら就職を希望しなかった7名(全て美容科)について、専門学校としての責務を果たすことができなかったことも事実であり、改善に向けた取り組みにも目を向けてまいります。

まずは、早期就職活動開始により就職意識を醸成すべく、初めての試みとして10月に1年生のサロン体験を実施しました。(100名 40社)

(3) 広報活動

広報活動においても、前述のNHCフェスティバルを一大イベントに位置づけて取り組み、大阪国際交流センターがほぼ満席になるほどの動員を実現することができました。

一方で、夏の生徒募集の佳境期に広報チームの戦力、業務を大幅に注がざるを得ないことが美容科入学者数の減員やオープンキャンパスの誘引に影響を及ぼしたのではないかとという反省もあり、今後イベントを継続する上での課題となりました。

最終的な入学者数は、美容科は前年比▲19名(105名→86名)、理容科は前年比▲16名(45名→29名)とともに大幅な減員となりました。

年度開始時点より、前年に比べオープンキャンパス動員数の減少(特に再来数)を懸念し、対策に取り組んでいたところではありますが、結果的に改善することができませんでした。

少子化による影響や、令和2年度に実施される高等教育無償化の問題もあり、今後益々厳しい状況が予測される点ではありますが、高等教育無償化に加え、失業者に対する助成等タイムリーに国の施策に対応することで、経営の安定に取り組んでまいります。

(4) 校友会

令和元年5月現在の校友会加盟サロン数は218社となりました。

6月の校友会総会・定例講演会を中心に、秋の定例講演会、親睦ゴルフコンペ、新年互礼会といった校友会主催イベントに加え、学校主導で就職ガイダンス、サロン体験、NHCフェスティバル等で協力を仰ぎながら、共存共栄を目指しています。

前述の様に生徒募集のための広報活動の厳しさが予測される中、生徒募集の面で校友会サロンの協力を得られるかは否かは結果を大きく左右するものととらえています。

上記イベントを通じる中で、確固たる信頼関係を築き、サロン様からは生徒募集の面でも積極的に協力いただき、学校側からは預かった生徒を資格・技術・知識を養成した上で就職という形でお返しできる様な関係を築きたいと考えています。

尚、今年度の校友会サロンへの就職率は、理美容合せて57.8%でした。

(5) 教員の資質の向上

生徒の夏休み期間を活用し、8月8日、9日、22日の3日間、株式会社リクルート指導の下、全教職員が参加し、「タグラインの設定を通じての学校の方針・方向性の共有」と題した研修を受講しました。

全員で意見を出し合い、学校のタグラインを創り上げることで、学校の方針や方向性を共有する機会となりました。

今後のカリキュラム編成や授業の仕方、生徒募集等に活かしていきます。

春休みには、川西寿美子先生に依頼し、トランスジェンダーについて学びました。

平成31年度に、該当する生徒の入学を控え、その対応法を共有しました。

今後増えてくるであろうこの様なケースにも柔軟に対応できる体制を整えていきます。